

加賀電子ビオトープ NEWS

- 第4号 - 2024年5月の調査報告



* TOPIC *



イトトンボの羽化を確認!

加賀電子ビオトープで、イトトンボが羽化しました!

調査時はまだ羽化したてで色が薄く、種類を確定してはいませんが、アジアイトトンボの可能性が高そうです。移動能力の高くないイトトンボがやってきて繁殖してくれたことは、大きな成果です!

* 今回の調査で見つかった生きもの *



完成から1年が経過し、ビオトープの中の植物がかなり豊かになってきました。今回の目玉は「ミコシガヤ」です。湿地に生えるカヤツリグサの仲間、東京都23区では準絶滅危惧の希少な種類です。こうした植物が増えることによって、トンボにとっては住みごちが良くなってきたことでしょう。幼虫の隠れ場所、羽化する場所、成虫が止まる場所などが増えていくからです。

* COLUMN *



ビオトープに咲く「ミゾコウジュ」

5~6月頃になると、ミゾコウジュという植物がビオトープの中で紫色の花を咲かせます。本種は近年、数を減らしており、東京都でも環境省でも絶滅危惧種に選定されています。加賀電子ビオトープをつくるにあたり、土と同じ場所から株を分けてもらって移植しました。万が一、移植元で本種が絶滅してしまった場合、加賀電子ビオトープから逆に供給することも想定した、絶滅リスクを分散させるための移植でもあります。



調査・監修
NPO birth 久保田 潤一

これからも地域の自然を大切に、人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう!

発信: 加賀電子(株)サステナビリティ推進部